

百度本社、新たなAIプロダクトを発表

～Wi-Fiルーターに自動翻訳機能を搭載。80カ国以上で利用可能～

Baidu, Inc. (本社：中華人民共和国北京市、Baidu会長兼CEO：Robin Li、米NASDAQ：BAIDU、以下、百度) は、本年9月19日に名古屋大学で開催された「MT Summit XVI (<http://aamt.info/app-def/S-102/mtsummit/2017/>) ※」にて、百度のAI技術を活用した新しいAIプロダクトを発表しました。

※MTとはMachine Translationの略で、本会議は機械翻訳に関連する代表的な国際会議です。

【百度智能Wi-Fi翻訳機】



<特長>

- ・無線 LAN「Wi-Fi」ルーターに自動翻訳機能を装備。
- ・百度の音声認識技術と機械翻訳技術を採用。
- ・80カ国のネットワークに対応。
- ・中国語、英語、日本語などに対応。
- ・ボタン一つで操作可能。
- ・自動で言語認識。

<利用方法>

中央の小さいボタンで切り替えをし、大きな丸いボタンを押しながらしゃべることで自動的に翻訳されます。現バージョンは切り替えが必要ですが、将来的には言語も自動で認識する予定です。

<サイズなど>

縦 152mm × 横 62mm 厚さ9～19mm 重さ 156g 4000ma 電池(4.5g)

LTE + 下り速度 300mbps

80+国対応可能、同時に5台まで接続可縦 色は白、黒、グレイの3色

今後百度は、年内に中国でのレンタル、販売を実現し、来年春節前には日本での展開を目指します。

<MT Summit XVI でのデモンストレーションの様子>

百度は、中国を代表してアジア太平洋機械翻訳協会が主催する「MT Summit XVI」に参加し、ボタン一つで自動的に中国語と英語、中国語と日本語等、色々な他の言語を認識して翻訳することができるスマートデバイスを世界で初披露しました。

百度の技術員会会長である呉華（WuHua、写真左）がデモンストレーションを行いました。



Baidu, Inc. について

Baidu, Inc は中国の主要なインターネット検索プロバイダーです。Baidu は、テクノロジーによって複雑な世界をシンプルにすることを目指しています。

Baidu 公式サイト： <http://www.baidu.com/>

バイドゥ株式会社について

世界の検索市場において第 2 位のシェアを有しており、米国 NASDAQ へ上場している Baidu, Inc.（百度）（本社：中国北京市、会長兼 CEO：Robin Li）の日本法人です。2006 年 12 月に設立以降、法人企業さまの中国へのマーケティング活動支援、インバウンド、越境 EC 向け対策などをサポートするべく中文広告商品やセミナー情報を提

供しているほか、累計 2,800 万ダウンロードを誇る日本語入力&きせかえ顔文字キーボードアプリ「Simeji」（2011年12月より Android 版、2014年9月に iOS 版を提供）なども公開しています。また、2015年5月より popIn 株式会社をグループ傘下とし、アジアマーケットへも進出しています。

バイドゥ株式会社公式サイト：<https://www.baidu.jp/>

<本件に関する報道機関からの問い合わせ先>

バイドゥ株式会社 マーケティング・広報部

E-MAIL：pr-jp@baidu.com